

対象年齢 18才以上
改正銃刀法クリアー製品



GUN SOUND

OPERATOR'S MANUAL



新開発ガンサウンドシステム搭載
VSR-10 PRO-HUNTER G

BOLT ACTION AIR RIFLE

プレミアム限定

VSR-10 プロハンターG [ステンレスタイプ・リアルショック]

警告



大音量注意

●過度な大音量での使用や、長時間の使用は鼓膜を傷める恐れがあります。
操作は必ず最小の音量で始めてください。また、適時に休憩を取ってください。

■ご使用の前に最後まで必ずお読みください。

取扱い注意・説明書



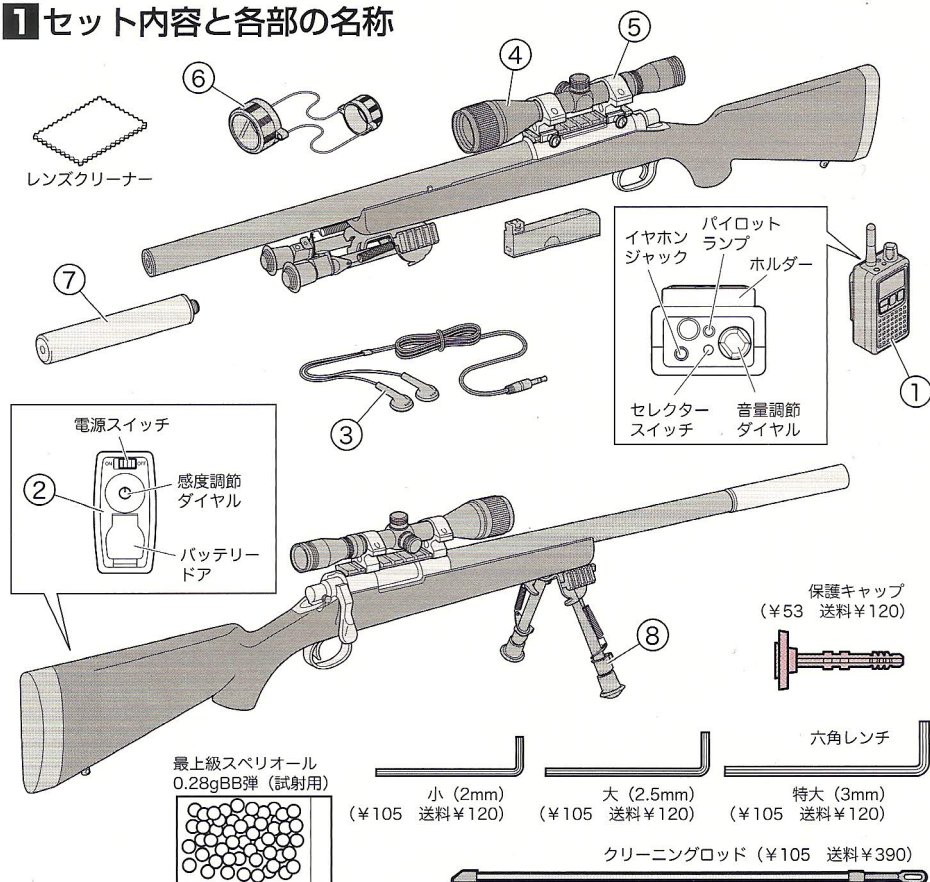
Warning!

This Product has been manufactured and sold pursuant to the laws and relevant regulations of Japan and based upon the societal attitude towards toy guns, etc. in Japan. No warranty is provided that this Product complies with the laws and regulations of any other countries. This English explanatory note concerning this Product is intended only for the information of a foreign user who uses this Product in Japan.

当製品は日本で開発し、中国で製造されたパーツが一部使用されていますが、組立て及び最終調整は全て日本国内にておこなわれています。

⚠注意 VSR-10取扱い注意・説明書と合わせてご覧ください。

1 セット内容と各部の名称



No.	名 称	No.	名 称
①	ガンサウンド受信機 7P-7	⑤	プロハンター-GマウントリングM 4P-4
②	ガンサウンド送信器 (本体内) 6P-7	⑥	レンズキャップ 4P-4
③	ガンサウンド試聴用イヤホン 7P-7	⑦	プロハンター-Gサイレンサー 3P-2
④	プロハンター-Gズームスコープ3~9×40 4P-4	⑧	プロハンター-Gバイボッド 3P-3

セット以外に必要な物	お好みで
(テスト用付属) LR44 電池 3個 単四アルカリ電池 3本 (別売)	●ミニプラグ (3.5mm) の物に限ります。 ヘッドホン

⚠注意 使用しない時はレンズキャップと保護キャップをしましょう。

⚠ 警告・注意

HOP調整レバーが解除（ゼロ）位置にある場合（出荷時）、BB弾はチャンバーで保持されません。そのため、HOP調整をしないでBB弾を装填すると、コッキング操作等によってBB弾が銃口からこぼれる可能性があります。そのため、サイレンサーを装着していると内部にBB弾が入り、2弾目以降のBB弾と衝突し、サイレンサーが破損します。必ず最初にHOP調整をしてからサイレンサーを取り付けてください。

- 消音ウレタンは発射音を完全に消すことはできません。
- 強く締めすぎるとネジ山がつぶれ、マズルより外せなくなる場合がありますので注意してください。
- サイレンサーの文字が取り付けの時、横や上になりますが、不良ではありません。
- ウレタンがずれ込んだまま発射しますと、BB弾が思わぬ方向に飛び危険です。

⚠ 警告・注意

- ロックボタンを押すと、勢い良く脚部が飛び出しますので注意してください。
- 可動部やバネに手を挟まないよう注意してください。



2 サイレンサーの脱着

注意 必ず最初にHOP調整をしてください。サイレンサー内部が破損する恐れがあります。

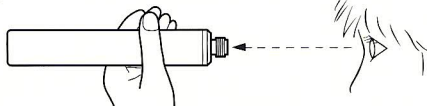
- サイレンサーを取り外し、VSR-10説明書13～14Pを参照してHOP調整をします。

正ネジなので回転方向に注意。
（最後までしっかりと締めます。）



- 弾が出なくなった場合は…

図のように銃本体からサイレンサーを外し、サイレンサー内部の消音ウレタンのズレなどをチェックします。内部にBB弾やBB弾のかけらが残っている場合があります。



ウレタンの飛び出し



内部にウレタンがズレ込み影をついている。

BB弾



ウレタンが変形し向こう側が見えない。

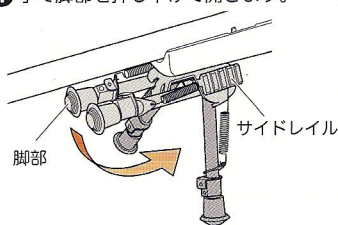
1. P11パーツリストを参考にして中の部品をクリーニングロッドなどで少しずつ押し出します。（サイレンサー取付部は正ネジです。）

2. BB弾などを取り除き組み直します。

3. もう一度内部をチェックします。

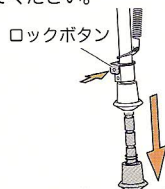
3 バイポッドの使用法

- ① 手で脚部を押下げて開きます。



※サイドレイルにはCQフラッシュ等が取付可能です。

- ② ロックボタンを押して脚部を伸ばします。バイポッドの長さは6段階に調節できます。収納する時はロックボタンを押しながら縮めてください。



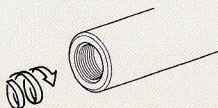
注意（別売NEWフルオート・トレーサー、プロサイレンサー等を取付ける場合のみ、ご参照ください。）

- NEWフルオート・トレーサー（別売）
- 0.20g発光BB弾（別売）
- プロサイレンサー〈ナイツ/ショート〉（別売）

- ① サイレンサーを外し、マズルアタッチメント（別売）をしっかり取り付けます。

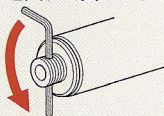
Gスペック専用
マズルアタッチメント（別売）

※アタッチメントサイレンサー取付部は逆ネジです。



正ネジなので注意。

※外すときはマズルアタッチメントの穴に六角レンチを入れて回します。



- ② VSR-10取扱説明書の22Pを参照してフルオート・トレーサーを取り付けます。

警告・注意

- 銃の構え方はVSR-10説明書16Pを参照してください。また、巻末のスナイパーマニュアルもご一読願います。
- スコープで太陽は絶対に見えないでください。最悪の場合、視力に障害が生じる恐れがあります。
- スコープは精密な光学機器ですので、保管する場合は水滴や汚れを落とし、湿気のない所で保管してください。
- スコープは防水仕様ですが、故意に水の中に入れたりしないでください。
- 分解は絶対にお止めください。分解による破損・故障は当社では一切の責任を負いません。

パーツ紛失注意

- ※ マウントリングのネジ等のパーツ、スコープの調整部のキャップおよびレンズキャップはパーツ単体の別売は有りません。セット販売のみとなっておりますので、紛失には特にご注意ください。

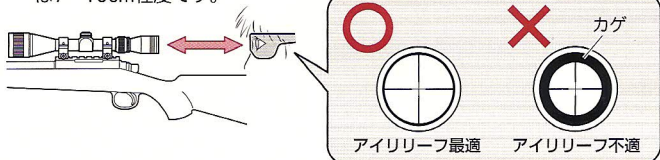


- ※ スコープを使用しない時は、レンズのキズ防止と防塵のためにレンズキャップを使用してください。レンズの汚れを落とすには、付属のレンズスクリーナーか、市販の同等品をご使用ください。

4 アイリリーフの調整

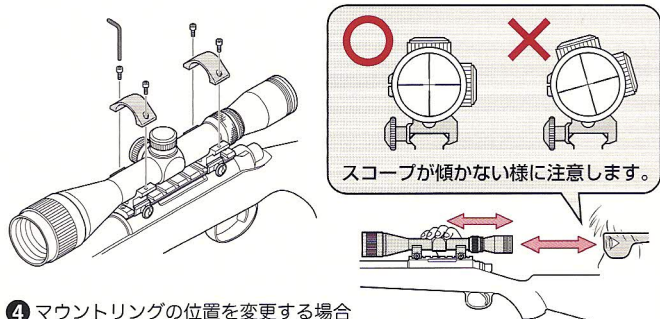
(銃を構えて下図の「○」の様に見えれば調整は必要ありません。)

- ① ストックにほおを付けスコープをのぞきます。スコープの接眼レンズまでは7~10cm程度です。



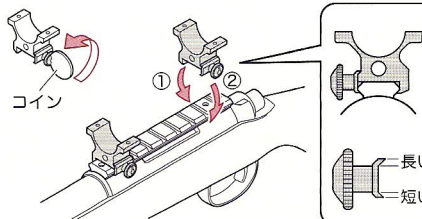
- ② ほお付けの位置を前後にズラしても図の「x」の様にしか見えない様でしたら以下の調整が必要です。

- ③ マウントリング前後の上部を外します。



- ④ マウントリングの位置を変更する場合

固定ネジをコイン等で回し、マウントリング(下部)を外して位置を変更し、マウントベース上へ取り付けます。(①→②順番)



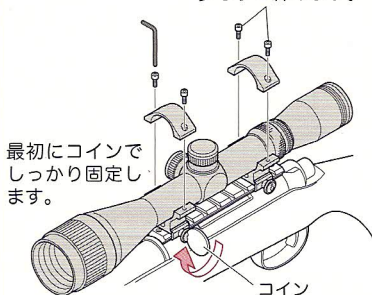
注意

左図の様にツメがマウントベースのミズに、しっかりとはさみ込んでいる状態にしてください。

マウントリングのツメには上下があります。取付時よく確認の上、しっかり固定してください。

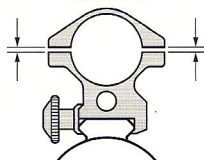
- ⑤ 位置が決まったら、マウントリング(下部)を固定し、マウントリング(上部)をかぶせ、ネジを締め付け、しっかり固定します。

ネジは左右交互に少しずつ締めます。



- ⑥ スキ間が均等になる様に、マウントリング(上部)を調整し、しっかりとめ込みます。

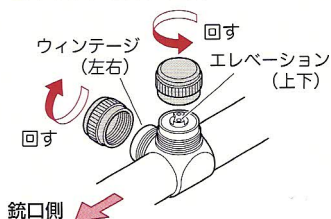
断面図



スキ間は必ず発生します。均等になる様固定しますが、ネジを締めすぎるとスコープにキズがつく恐れがあります。

5 スコープの調整

1. 試射 (VSR-10 説明書 11P~17P を参照してください。) を行い、ターゲットの着弾を確認します。
2. キャップを外します。



3. エレベーション (上下)
着弾点が下に行く場合は、UP 方向に回します。(上は逆方向)



4. ウィンテージ (左右)
着弾点が右に行く場合は、L 方向に回します。(左は逆方向)



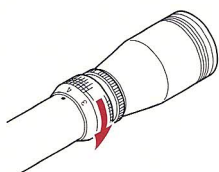
※各ダイヤルの矢印は、着弾点の調整方向を表しています。

- 視度調整 (注意: 通常は使用しません。不必要な時は動かさないください。)

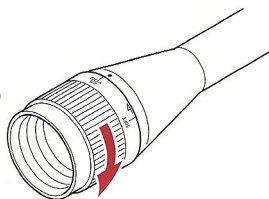


極至近距離や、視力の弱い方の場合、レティクルが見つからない場合があります。その場合、①アイベルをレティクルがはっきり見える位置まで回します。(回しすぎると破損する恐れがあります。)②レティクルがはっきり見える様になったら、ロックリングをアイベル側に回転移動させ、ロックします。

6 ズームとフォーカスの調整



- ① ターゲットまでの距離が長くなる場合や、ターゲットの狙点を拡大して見たい場合、ズームリングを回し、倍率を上げます。フォーカスリング「50FT 倍率 3 倍「3」で約 5m が、近距離でピン트가合う限界です。

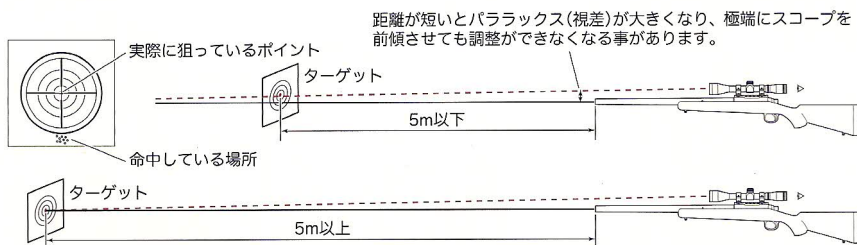


- ② 倍率を上げる事でレティクル及び、スコープ内の像がぼやける場合、フォーカスリングを回し、ピント調整を行います。フォーカスリングは、ターゲットまでの距離が長ければ、数字の大きい方に回していきます。

※倍率を最大にして (9 倍) 近距離 (15m 以下) を狙う場合、ピン트가合わない場合がありますが、これは故障ではありません。

! スコープ射撃についての解説

プロスコープ・ズームは実銃用であり、マウントベースも実銃用をリアルに再現したものです。そのため、最低 5m 以上でなければ、視線 (ライン・オブ・サイト) と弾道 (ライン・オブ・ボア) が交差しません。



ボルトアクションライフルから発射された BB 弾は、HOP-UP 機能によって進行方向に対し、縦回転が与えられ浮力が発生しています。そのため、調整が完璧ならばターゲットまで水平な弾道を描きます。(適正射距離 25m~35m)

⚠ 警告・注意

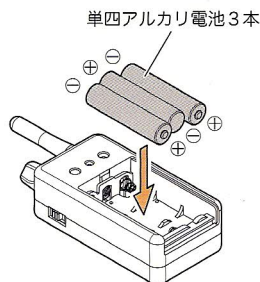
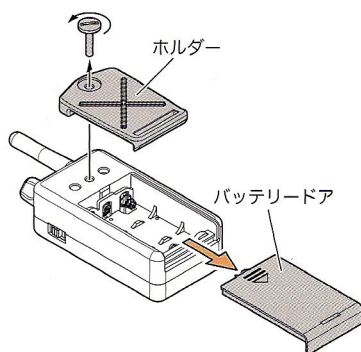
- 電池の⊕を正しくセットしてください。
- 電池を落下させたり強い衝撃を与えたりしないでください。
- 古い電池と新しい電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しない時は、電池を取外して保管してください。また、保管する電池はテープなどで端子部の絶縁処理をしてください。
- 誤飲防止のため、電池は幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 使用済み電池を捨てる際は、各地方自治体の廃棄区分に従ってください。
- 別途お買い求めいただいた電池の注意書も、必ずお読みください。

7 ガンサウンドシステムの準備**① 受信機へ電池をセットします。**

※単四アルカリ電池3本(別売)アルカリ電池以外は使用不可。

①コイン等でホルダーを外し、バッテリードアを開けます。

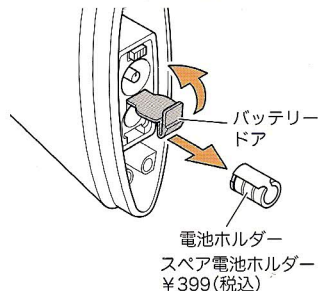
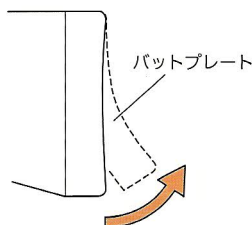
②単四アルカリ電池3本を入れます。

**② 送信機の準備と電池の交換方法。**

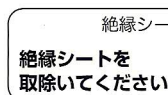
※付属の電池は、テスト用です。使用前に絶縁シートを取り除きます。

①ストックからバットプレートを取り外します。(少し固いので、ケガに注意してください。)

②バッテリードアを開け、電池ホルダーを取出します。



③絶縁シートを取り除きます。



⚠ **スぺーサー
ホルダーカバー
ろう電防止フィルム
紛失注意**

ろう電防止フィルム

②ろう電防止フィルムから電池を取出して交換する



- 電池は必ずろう電防止フィルムに入れて、電池ホルダーにセットしてください。
- 電池の交換後、ホルダーカバーをしっかり戻してください。

⚠ **注意** ホルダーカバー、スぺーサー、ろう電防止フィルムは捨てないでください。

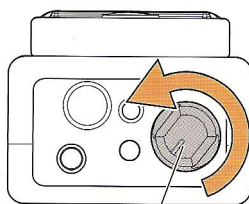
⚠ 警告・注意

- 使用前に必ず音量調節ダイヤルを左に止まるまで回してください。音量が大きいと、鼓膜等を痛めたり、イヤホン等が壊れる場合があります。

- イヤホンまたはヘッドホンジャックを差し込んでから受信機の電源を入れると、電源を入れた瞬間に射撃音が出ますので注意してください。

7 ガンサウンドシステムの準備

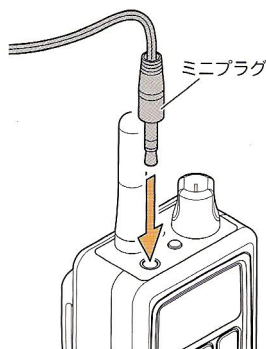
- ③** 受信機の音量を最小にします。



音量調節ダイヤル

音量調節ダイヤルを左に止まるまで回してください。

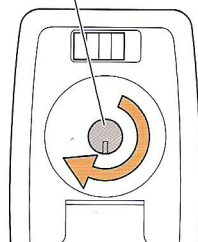
- ④** 受信機イヤホンまたは市販のヘッドホンのミニプラグを装着します。



ミニプラグ

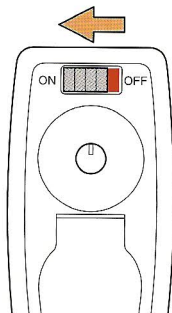
- ⑤** 送信機の感度を最小にします。

感度調節ダイヤル

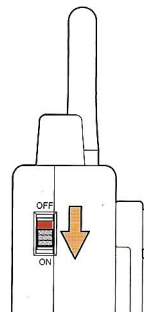


感度調節ダイヤルを右に止まるまで回してください。

- ⑥** 送信機の電源をONにします。



- ⑦** 受信機の電源をONにします。

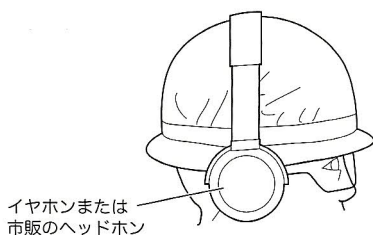


⚠ 警告・注意

- 市販のイヤホンやヘッドホンを使用される場合、付属の説明書も併せてご覧ください。また、市販のイヤホンやヘッドホンの故障、誤った使用によるトラブルについては当社では一切の責任を負いません。

7 ガンサウンドシステムの準備

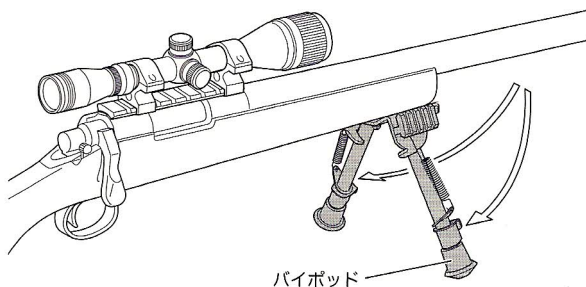
- ⑧ イヤホン（またはヘッドホン）を装着します。



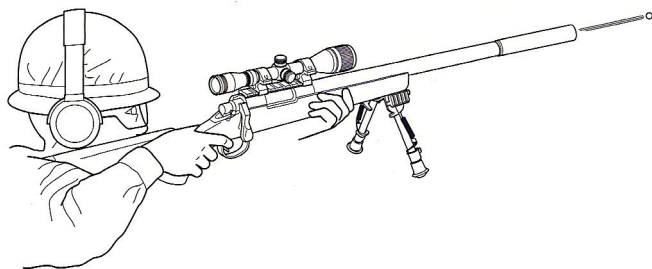
- ⑨ VSR-10説明書に沿って射撃の準備をします。

- バイポッドは最後まで確実に開かないと、倒れてケガや銃を破損する恐れがあります。

- ⑩ バイポッドを開き、銃を安定させます。



- ⑪ 射撃します。

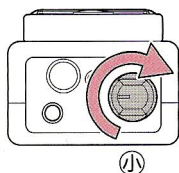


⚠ 警告・注意

- 急に音量を上げると、鼓膜等を痛めたり、イヤホン等が壊れる場合があります。

7 ガンサウンドシステムの準備

- 12 受信機の音量を少しずつ上げていきます。

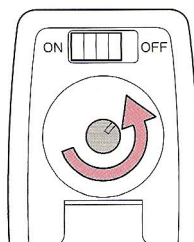


好みの音量になるまで右に少しずつ回してください。



- 感度調整を行う前に⑨に戻って受信機の音量を下げてください。送信機の感度を上げて受信機の音量を上げて射撃音がない場合、①: 電池の残量チェック→交換を検討②: イヤホンの断線等の故障、または市販品で音量調節付の場合の未調整など③: ①②以外の故障の可能性→当社アフターサービス部へのお問い合わせ…の順序で対応してください。
- 送信機の感度を上げていくと、コッキング操作などによって射撃音がある場合がありますが、故障ではありません。その場合、感度過剰になっていますので、感度を調整してください。

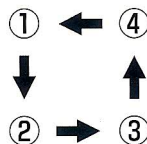
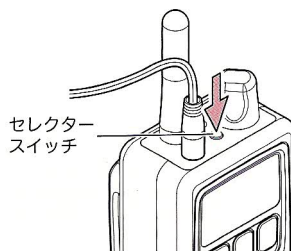
- 13 受信機の音量を上げてても音が発生しなかったり、音の発生が不確実な場合は、送信機の感度を少しずつ上げて調整します。



ダイヤルを左に回して適度な感度になるよう調節します。

- 14 音源を変更します。

受信機上面のセレクトースイッチで射撃音の切り替えができます。セレクトースイッチを一回押す度に4種類の射撃音が順に切り替わります。



スイッチを押す度に射撃音が変わりますので、音量に注意してください。

※パーツや価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

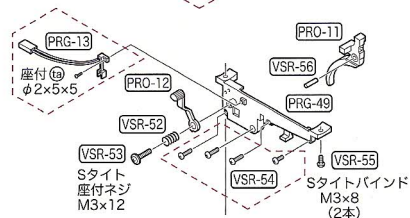
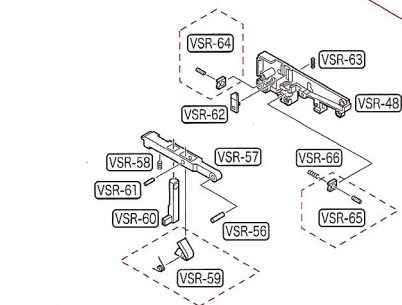
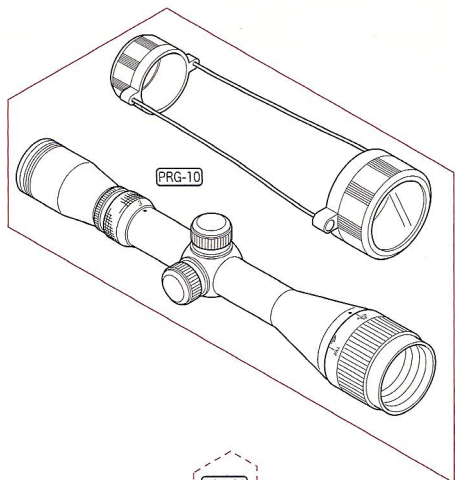
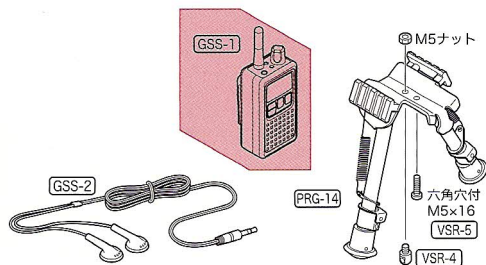
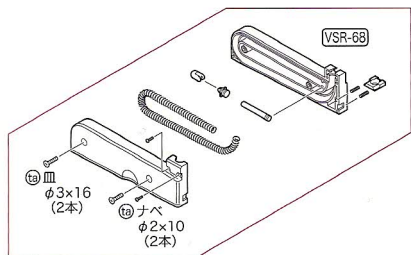
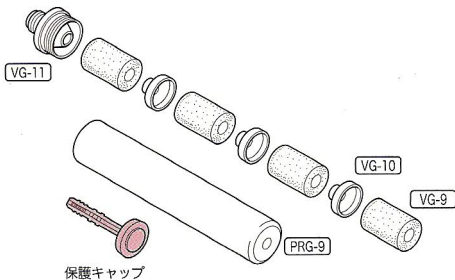
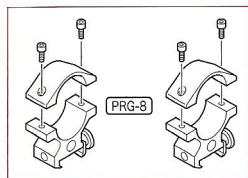


- 少量生産品のため、パーツの在庫が無い場合や、次回入荷も未定である事が起こり得ます。ご注文の際は、事前に必ずお問合せ願います。
- 当社事情により、予告無く生産休止、または仕様の変更が発生する可能性があります。予めご了承願います。

No.	パーツ名	価格	送料
YSG-1	ガンサウンドシステム内蔵ストック 茶	18,900	
YSG-2	ガンサウンドシステム内蔵ストック 黒	18,900	
PRG-1	プロハンター-Gアウターバレル	7,350	580
PRG-2	プロハンター-Gマズル	683	140
PRO-3	プロハンター-マウントベース	1,754	240
PRO-4	プロハンター-レシーバー	3,780	390
PRO-5	プロハンター-レシーバーエンド	2,100	240
PRO-6	プロハンター-ボルトハンドル	1,890	240
VG-7	G SPEC HOPバレル (真鍮)	3,990	240
PRO-7	プロハンター-ボルトスリーブ	630	200
PRG-8	プロハンター-GマウントリングMセット	1,470	240
PRG-9	プロハンター-Gサイレンサー本体	4,410	240
VG-9	消音ウレタン (4ヶセット)	525	200

No.	パーツ名	価格	送料
PRG-10	プロハンターGスコープ 3-9x40	12,810	580
VG-10	バッフルプレート (3ヶセット)	525	140
PRO-10	プロハンタートリガーガード	735	140
VG-11	G SPECサイレンサー取付部	1,995	200
PRO-11	プロハンタートリガー	683	140
PRO-12	プロハンターセフティ	578	140
PRO-13	SサイトM2.6x10 (2本) 座付T.P2x4x5.4 (1本)	137	120
PRG-13	トリガースイッチユニット・座付T.P2x5x5 (1本)	315	120
PRG-14	プロハンターGバイボット M5ナット (1ヶ) 付	7,140	390
GSS-1	ガンサウンド受信機	5,880	
GSS-2	ガンサウンド試験用イヤホン	315	120
PRG-49	プロハンターGトリガーハウジング右	1,155	240

10



- ※VSR-〇〇はVSR-10用パーツ
- ※PRO-〇〇はプロハンター用パーツ
- ※PRG-〇〇はガンサウンドプロハンターG用パーツ
- ※VSG-〇〇・GSS-〇〇はガンサウンド専用パーツ

■別売パーツ、アクセサリパーツのご注文は

- パーツをお求めの方は、左記のパーツ表から必要なパーツのNo.、パーツ名、個数を紙に記入し、代金、送料と共に小為替又は現金書留にて当社パーツ係（住所同じ）までお申し込みください。また、合計金額が¥500以下の場合、切手で代用できます。複数ご注文される場合の送料はあらかじめお問い合わせください。
- 時期によりパーツの在庫が不足している場合がありますので、予めお問い合わせください。
- パーツ名、あなたの住所、氏名、郵便番号、電話番号は、はっきりとお書きください。不明瞭な場合は発送できません。（部品や料金は予告なしに変更する場合もありますので、ご了承ください。）
- ※ PRG-8・PRG-10・PRG-14 は完成品直輸入のため、修理並びにセットに含まれるパーツの別売は行っておりません。予めご了承ください。

- ※ ガンサウンドシステム VSG-1・VSG-2 ならびに GSS-1（ストックに固定されている送信機および受信機）はパーツのみの別売は行っておりません。破損等での交換に限り、破損パーツと引き換えに販売させていただきますのでご了承ください。

△ 注意

VSG-1・VSG-2 と GSS-1（送信機と受信機）は同調（ペアリング）されているため、交換修理の際は必ず一緒にお送りください。送・受信機は別々にしますと機能しませんのでご了承ください。

- パーツ価格表以外のパーツについてはVSR-10取扱説明書の27～28Pのパーツリストをご覧ください。

詳しいご注文方法は、VSR-10説明書26Pをご覧ください。

※Eメールでのお問い合わせサービスは行っておりません。

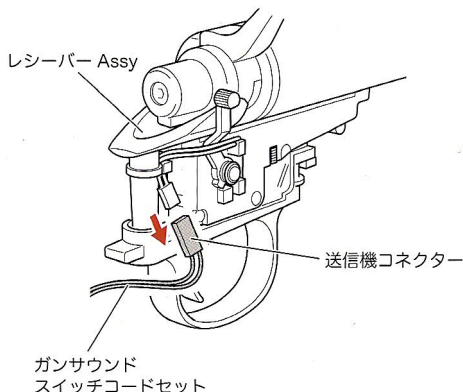
⚠ 警告・注意

- ガンサウンド送信機コネクターを外さずにトリガー調整を行うと、断線等により、ガンサウンドシステムが作動しなくなる恐れがあります。
- コードは引き出す事はできません。無理に引き出そうとすると、断線して正常に機能しなくなります。

8 ガンサウンド VSR-10 のトリガー調整の補足

(VSR-10 説明書 18P, 19P と併せてお読みください。)

トリガー調整を行うために、レシーバー Assy をストックから取り外す場合は、ガンサウンド送信機コネクターをレシーバー Assy から抜いてください。



⚠ 注意 メンテナンス方法とメッキ部分の注意

- “硬質クロームメッキ” による「ステンレス」タイプの表面仕上げを施してあります。ご使用後は、必ずメッキ面保護のため表面の汚れ（特に指から付着した脂分）を柔らかい布で拭き取ってください。仕上げにシリコンメンテナンススプレーをきれいな布に吹き掛け、布に染み込ませたシリコンオイルをメッキ部表面に薄く塗布してください。（使用後、放置されますと、脂分が付着した部分に曇りが残り、最悪サビ状の変質が発生する恐れがあります。）ひどい汚れを落とすには、中性洗剤を使用してください。シンナー等はメッキ面を傷めますので、絶対に使用しないでください。
- “硬質クロームメッキ” はメッキ面が非常に硬く「表面のキズ」には強く出来ていますが、落下や衝撃等にはメッキ面が割れる恐れがありますのでご注意ください。また、「メッキとメッキ」が擦れ合う「作動部分」はメッキの特性上、表面にキズが出来てしまいます。予めご了承ください。

各種お問い合わせ先 / 修理のお申し込み・発送先

感性を極めるホビーの総合メーカー
MARUI 東京マルイ アフターサービス部
 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 5-17-1

[営業時間] 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:30 (土日祝除く)

- 商品に関するお問い合わせ 03-3605-3378
 - 修理に関するお問い合わせ 03-3605-3373
 - パーツに関するお問い合わせ 03-3605-9669
- ※E-メールでのお問い合わせサービスは、行っておりません。

東京マルイ Web サイト <http://www.tokyo-marui.co.jp/> 株式会社 東京マルイ 本社：東京都足立区綾瀬 4-16-16